

令和3年11月
北九州市教育委員会
学校保健課

学校における歯と口の健康づくり懇話会

教育委員会では、市立小・中・特別支援学校における歯と口の健康に関する取り組みをより一層推進していくため、北九州市学校保健会において専門医、学校長、PTAなどから幅広く意見をお聞きする懇話会を令和3年2月に立ち上げました。

これまで5回の懇話会を開催し、本市のむし歯の現状やこれまでの取り組み、他都市の効果的な取り組み事例等をもとに、「北九州市 学校における歯と口の健康づくりに関する提言」として、構成員の方々の意見を取りまとめていただきました。

構成員（敬省略）

部会名	氏名	所属
学校歯科医部会	板家 隆	北九州市歯科医師会
校長部会	安元 裕彦	北九州市立槻田小学校
	山本 直人	北九州市立湯川中学校
	長谷川 智美	北九州市立小倉総合特別支援学校
養護教諭部会	寺師 かおる	北九州市立若松中学校
栄養教諭部会	大石 京子	北九州市立貴船小学校（～R3.3）
	初山 寿美子	北九州市立中井小学校（R3.4～）
PTA部会	小森 潤一郎	北九州市PTA協議会（～R3.6）
	三浦 隆史	北九州市PTA協議会（R3.7～）

懇話会の検討経過

	検討内容
第1回	本市の現状 児童生徒のむし歯の状況 むし歯予防に関する取り組みの状況
第2回	市内学校及び他都市の取り組み 歯と口の健康に関するアンケート
第3回	健康格差 アンケート結果に基づく本市の状況分析
第4回	（仮）北九州市 学校における歯と口の健康づくりに関する提言（案）
第5回	北九州市 学校における歯と口の健康づくりに関する提言

北九州市 学校における歯と口の健康づくりに関する提言(概要版)

施策の基本理念＝「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」(令和元年策定)

重点的施策「健やかな体の育成」

- ・学校医等をはじめとして専門職(歯科衛生士、栄養士など)や家庭との連携を図り、むし歯(や肥満痩身)の防止に努める。
- ・関係部局や歯科医師会等と情報交換を図りながら就学前児童のむし歯予防についても連携に努める。

現 状

北九州市立学校のむし歯予防対策

歯科検診、フッ化物塗布、歯科衛生士による歯みがき指導、保護者啓発チラシの配布、全国小学生歯みがき大会への参加等

課 題

- ①むし歯のない割合 政令市最下位(小学校 44.5%・中学校 55.8%(令和元年度))
- ②健康格差 むし歯のある子とない子との二極化
- ③生活習慣 おやつや甘い飲み物の採り方、むし歯予防の習慣づけ
- ④特別支援学校の児童生徒への指導
障害の内容や程度、成長発達の個人差により集団指導が困難

目 標

- ①むし歯や歯肉炎のない児童生徒の増加
フッ化物の利用の推進や望ましい食習慣、生活習慣などの普及啓発
- ②歯科医等の専門職及び家庭、学校との連携強化
専門職(歯科衛生士、栄養士など)や家庭、学校の連携体制の構築

方向性

(ミッション)

- ①生涯を通じた歯と口の健康づくりの基盤となる望ましい生活習慣の形成
おやつの採り方等の食育指導、給食後の歯みがきの実施、歯科衛生士による歯科保健指導
- ②むし歯治療、むし歯予防のための歯科受診の推進
歯科検診(定期健康診断)後のフォローアップ体制の強化
- ③フッ化物によるむし歯予防の普及啓発の強化、フッ化物洗口法等の推進
学校と学校歯科医との連携による新たなフッ化物洗口法等の取り組みの強化

提言の内容を反映した総合的な計画を策定することを要望

新たに策定する計画を推進するために、学校や家庭、歯科医師会が一体となって取り組むことが重要。「(仮称)学校における歯と口の健康づくり推進協議会」を設置し、毎年度、計画の進捗状況を点検し、実施すべき事業を検討するほか、必要に応じて対策の方向の見直しなどを行うことが必要。